

令和8年度 シラバス

教科	国語	科目	国語表現（前）	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	「国語表現」（大修館書店）					
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 言葉と出会う		言葉と表記 整った文を書く 相手に応じた言葉遣い わかりやすい文を書く			
	2 伝える、伝え合う		文のつなぎ方 自己紹介ゲーム 言葉のストレッチ体操 絵や写真を見て書く マイニュース記事を書こう			
	3 小論文・レポート入門		小論文とは何か 反論を想定して書く 文章を読み取って書く 統計資料を読み取って書く 発想を広げて書く レポートを書く 論文を書くために			
後期	4 自己PRと面接		自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 志望理由を書こう 自己推薦書や学修計画書を書く 面接にチャレンジ グループディスカッションをしよう			
	5 メディアを駆使する		通信文を書き分ける 電話を使いこなす 電子メールを活用しよう ネット社会との付き合い方 ネットを利用した情報収集			
	6 会話・議論・発表		相手や場面に応じた会話 建設的な議論の進め方 スピーチをしよう プレゼンテーションの工夫			